

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 29日

秋田県知事 殿

提出者

住 所 秋田県にかほ市平沢字井戸尻81

氏 名 秋田化学工業株式会社

代表取締役 丹野 恭行

(法人にあっては、名称及び代表者氏名)

電話番号 0184-37-3166

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき 令和 4年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	秋田化学工業株式会社
事業場の所在地	秋田県にかほ市平沢字井戸尻81
事業の種類	電気めっき業(2464) その他の金属表面処理業(2469)
特別管理産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	233.649 t	全処理委託量	43.949 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	43.949 t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	189.7 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行 う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	245.949 t
	前 年 度	392.606 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)		
JWNET(日本産業廃棄物処理振興センター)への加入		
※事務処理欄		

(日本工業規格 A列4番)



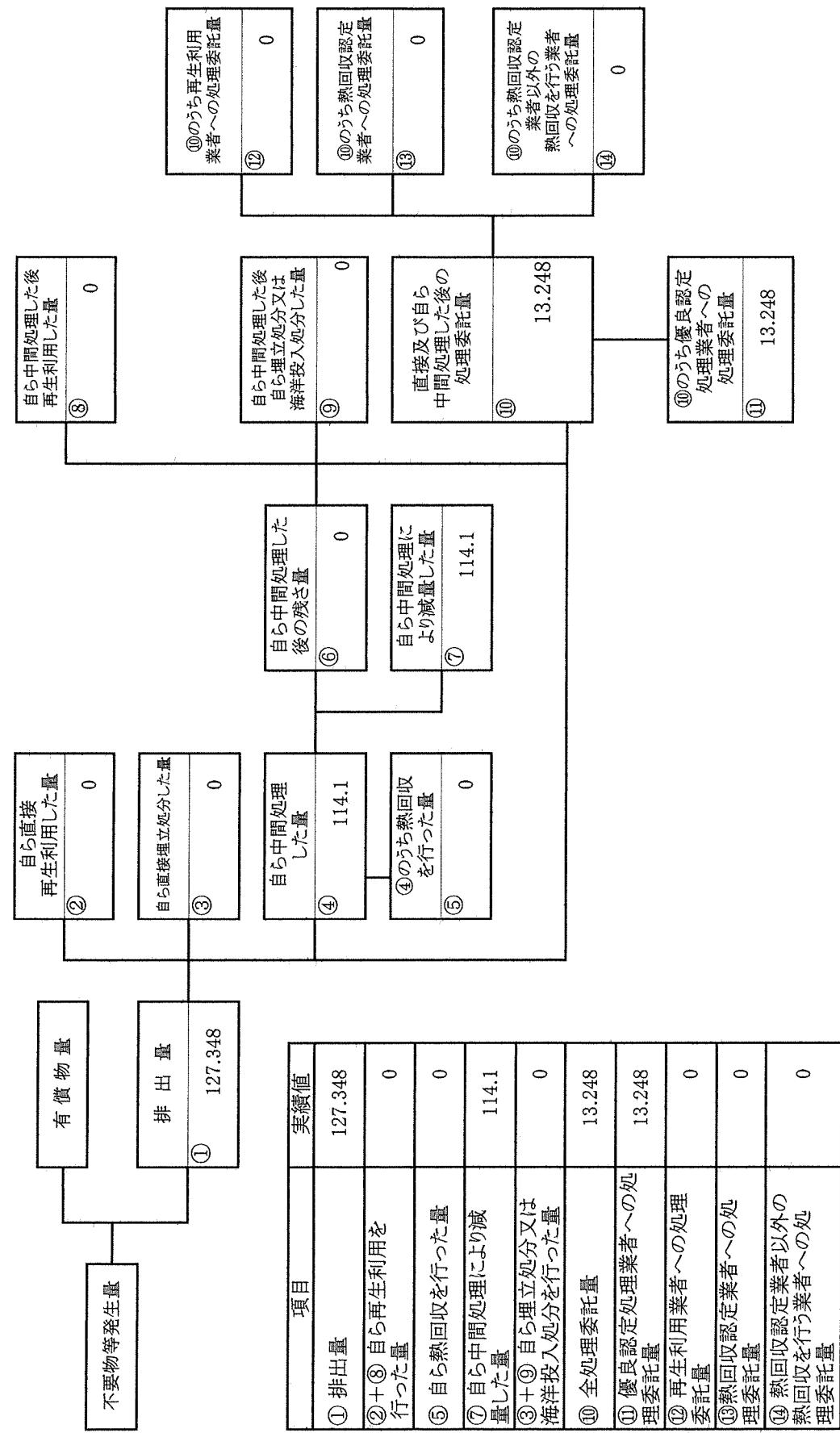
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類 : 強酸)

項目	実績値	
① 排出量	259.463	
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	0	
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	107.0	
③ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩ 全処理委託量	152.463	
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	152.463	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0	
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量	0	
項目	実績値	
① 排出量	259.463	
④ + ⑩ 自ら中間処理した後の残さ量	0	
⑥ 自ら中間処理により減量した量	0	
⑦ + ⑪ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	107.0	
⑨ + ⑫ + ⑬ + ⑭ (第2面)	152.463	
自ら直接再生利用した量	0	
自ら直接埋立処分した量	0	
自ら中間処理した後再生利用した量	0	
自ら中間処理した後埋立処分した量	0	
自ら中間処理した後海洋投入処分した量	0	
自ら中間処理した後熱回収を行った量	0	
自ら中間処理した後優良認定業者への処理委託量	0	
自ら中間処理した後再生利用業者への処理委託量	0	
自ら中間処理した後熱回収を行う業者への処理委託量	0	

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類 : 強アルカリ)



(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類 : 強アルカリ【有害】)

項目	実績値											
① 排出量	5,408											
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	0											
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0											
③ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0											
⑩ 全処理委託量	5,408											
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	5,408											
⑫ 再生利用率	0											
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	0											
⑭ 热回収を行う業者への処理委託量	0											
自ら直接再生利用した量	② 0											
自ら直接埋立処分した量	③ 0											
自ら中間処理した後の残さ量	④ 0											
④のうち熱回収を行った量	⑤ 0											
自ら中間処理により減量した量	⑥ 0											
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑦ 0											
自ら中間処理した後自ら直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑧ 0											
⑩のうち热回収認定業者への処理委託量	⑪ 5,408											
⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ 0											
⑫のうち再生利用率	⑬ 0											
⑬のうち热回収認定業者への処理委託量	⑭ 0											
⑭のうち热回収を行う業者への処理委託量	⑮ 0											

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類 : 引火性廃油)

項目	実績値	
① 排出量	0.387	
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	0	
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	
③ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩ 全処理委託量	0.387	
⑪ 優良認定業者への処理委託量	0.387	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0	
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	0	
⑭ 热回収を行う業者への処理委託量	0	
項目	実績値	
① 排出量	0.387	
④ 自ら中間処理した量	0	
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	0	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0	
⑪ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0.387	
⑫ ⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	
⑬ ⑪のうち優良認定業者への処理委託量	0.387	
項目	実績値	
② 自ら直接再生利用した量	0	
③ 自ら直接埋立処分した量	0	
⑪ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0	
⑫ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量	0	
⑬ ⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭ ⑪のうち優良認定業者への処理委託量	0	

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業実績値を廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書(別紙)

単位:t

区分	廃棄物の種類	本年度の目標 特別管理 産業廃棄物 発生量の目標	①特別管理 産業廃棄物 発生量	②自己直接 再生利用量	③自己直接 埋立処分量	④自己中間 処理量	⑤自己中間 処理後残さ 量 (汚泥率3.54%)	⑥自己中間 処理後再生 利用量	⑦自己中間 処理後 又は海洋投 入量	本年 度(～R5年3月)の 実 績	
										⑧委託処分量 再生	⑨中間処理 (再生以外)
強アルカリ	廃アルカリ(社内処理)	92.7	114.1			114.1					
強酸	塩酸、王水他(社内処理)	83.6	85.9			85.9					
強酸	廃クロム(社内処理)	13.4	21.1			21.1					
	社内処理量計	189.7	221.1			221.1					
強酸	黒クロメート廃液	1.89	2.04			2.04					2.04
強酸	化研廃液、硝酸廃液	14.5	17.35			17.35					17.35
強酸	3面クロメート廃液	5.4	5.923			5.923					5.923
強酸	濃厚水洗水	0	117.34			117.34					117.34
強酸	酸洗廃液	0	9.81			9.81					9.81
強酸	スマット除去廃液	0	0			0					0
強酸	50%フッ酸	0	0			0					0
強酸[有害]	6面クロムめつき廃液	0	0			0					0
汚泥[有害]	クロムめつき残渣	0	0			0					0
強アルカリ	アルマイト・溶アルカリ(イッヂグ'液)	15.62	10.79			10.79					10.79
強アルカリ	N剥離廃液(Cu用)	0.21	0			0					0
強アルカリ	N剥離廃液	0.86	2.458			2.458					2.458
強アルカリ	亜鉛めつき廃液	0	0			0					0
強アルカリ	ピロリン酸銅めつき廃液	0.043	0			0					0
強アルカリ[有害]	廃アルカリ	0.831	1.144			1.144					1.144
強アルカリ[有害]	AIの無電解Ni置換剤廃液(Zn)	4.386	4.264			4.264					4.264
強アルカリ[有害]	亜鉛めつき廃液(検定)	0.019	0			0					0
引火性廢油	防錆油	0.19	0.387			0.387					0.387
	計	233.649	392.666			221.1					171.506

(区分)	(内訳)
強酸	152.463
強アルカリ	13.248
強アルカリ有害	5.408
引火性廢油	0.387
強酸有害	0
汚泥有害	0
合計	171.506

R4年4月～R5年3月の実績
(① - ④) (t)



R4年4月～R5年3月の実績
(① - ④) (t)